



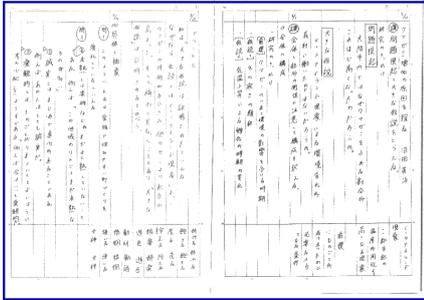
柏葉



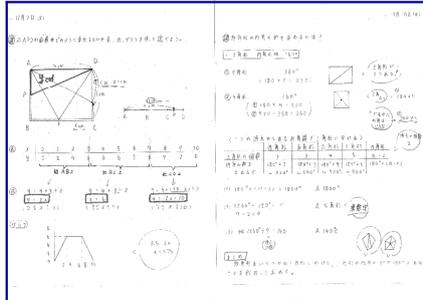
学校だより 第38号
 令和5年 2月 3日(金)
 福島県白河市立東北中学校
 発行責任者 校長 渡邊泰昌
 「自分の未来を切り拓け！」

第2回ノートコンテスト工夫を凝らしたノートです

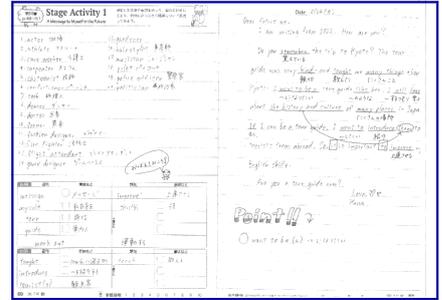
[長久保汐李さんのノート]



[佐久間柑奈さんのノート]



[邊見 虹羽さんのノート]

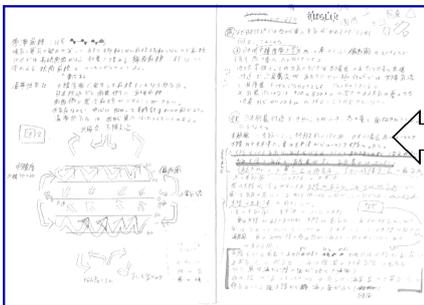


きれいな字で板書事項をノートに写しているのはもちろんですが、日付けもしっかり記入され、復習の時、振り返りがしやすいそうです。欄外の漢字練習や意味調べのメモもとてもよいですね。 評：泉川先生

黒板に書いてあること以外のこともメモとして残しています。色を分けて丁寧にまとめています。余白があるので書き込みもしやすいノートになっています。 評：大野先生

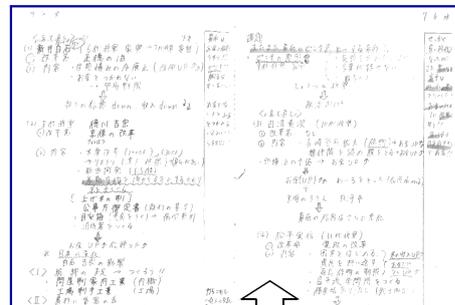
板書した内容が丁寧にまとめられているだけでなくワードリスト(左ページ)を書き写したり重要な表現(右ページ)を自分でまとめたりと工夫されているノートです。 評：佐久間先生

[佐久間杏奈さんのノート]



重要な部分に蛍光ペンで線を引いてわかりやすくしてあるだけでなく授業中に伝えた暗記すべき所へのメモをしっかりとある点、ノート上方のスペースにまで重要なことをメモしている点もすばらしいです。 評：今井先生

[榎原ことみさんのノート]



ノートを区切って、用語の解説や教師の補足説明をメモしているのがポイントです。また、自分の言葉で板書した内容を補足しているところもポイントの一つです 評：教頭先生

わたしの青少年赤十字
 詩・百文字提案受賞作品
 「わたしが感動したことはやでこと」
 白河市立東北中学校
 一年 鈴木 そよ

「出来るまでやればできる」何をやってもうまく出来ない。諦めている心に静かにひびき、光る。私を救ってくれる大事な言葉。今日も新しい自分になるために挑戦する。

わたしの青少年赤十字
 詩・百文字提案受賞作品
 「わたしが感動したことはやでこと」
 白河市立東北中学校
 二年 運天 沙也圭

「うちは幸せだね。」
 私のお父さんは何かあるたびにそう言う。普段の当たり前がそうじゃない人もいる。おいしいご飯を食べて、毎日学校にも行けて毎日元気で暮らせることが私にとって最高の幸せだ。